

◆ 歩行空間のバリアフリーに関する情報をデータ化するツールを無償で提供します！

(国土交通省 政策統括官付)

国土交通省では、誰もが自由に移動できるユニバーサル社会の構築に向けて、車いすの方が通行できるバリアフリールートスマートフォンを通じてナビゲーションする等、ICT を活用した歩行者移動支援サービスの普及展開を目指し、「バリアフリー・ナビプロジェクト」を推進しています。

バリアフリールートをナビゲーションするためには、歩道や公園内など歩行空間における段差や幅員、勾配等のバリアフリーに関する情報を収集し、データ化することが必要となります。

このたび歩行空間の形状やバリアフリーに関する情報をタブレット上で容易に入力しデータ化することができる「歩行空間ネットワークデータ整備ツール(試行版)」(以下、「データ整備ツール」)を無償で提供することとしました。

本ツールを用いて作成されたデータ(歩行空間ネットワークデータ)は、バリアフリールートのナビゲーションに活用できるほか、バリアフリーマップ等によりバリアフリー情報を可視化するという活用もできますので、バリアフリーに関する取組・調査の一環としてぜひご利用をご検討ください。

なお、データ整備ツールは試行版であることから、国の機関、地方公共団体、大学等の研究機関に限り利用することができます。また、利用に当たってのサーバやタブレット等の環境は、利用者において用意していただく必要があります。

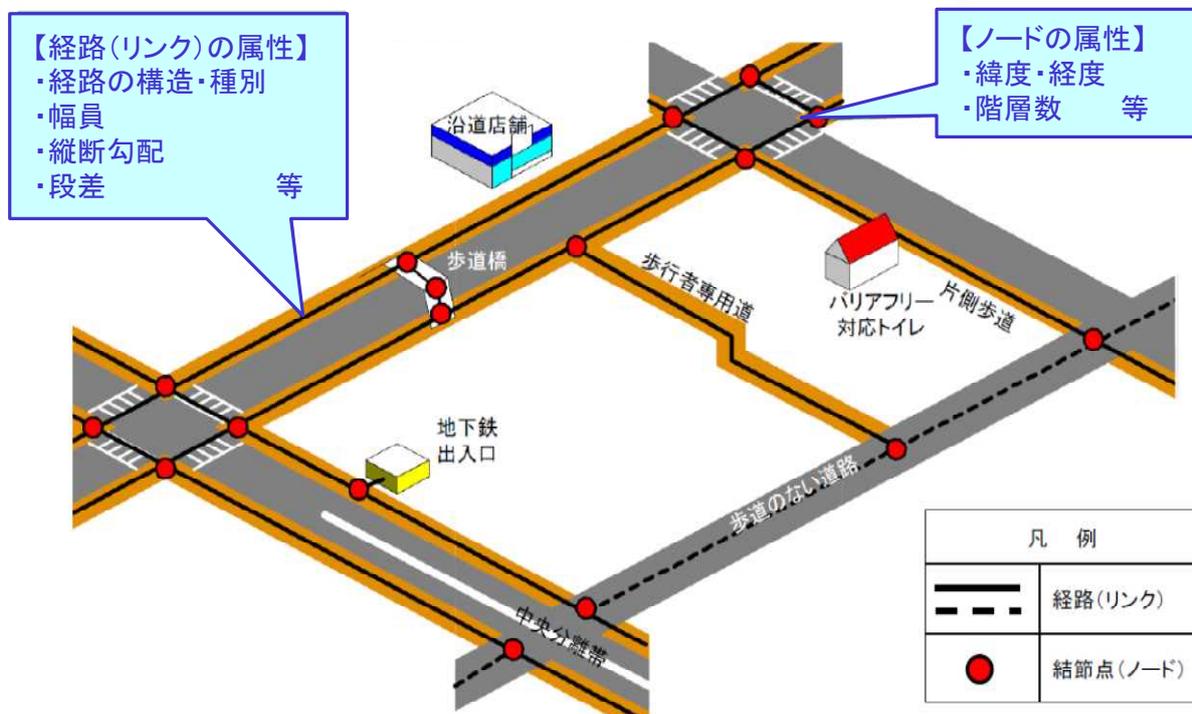
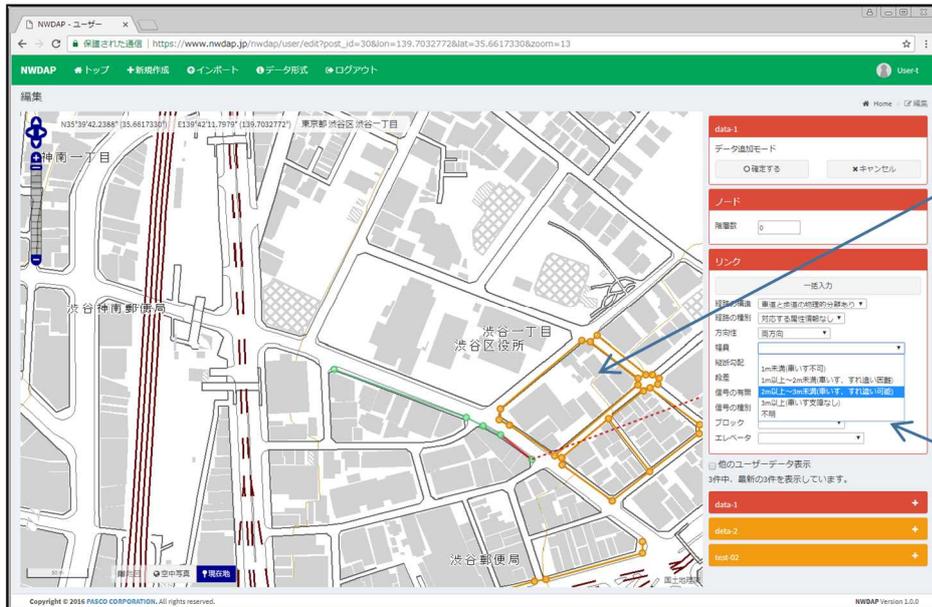


図 歩行空間ネットワークデータのイメージ

「歩行空間ネットワークデータ」とは、歩行空間の形状に合わせてノード(点)とリンク(線)を配置し、属性としてリンク延長や経路の構造・種別のほか、段差や幅員、勾配等の情報を持たせてデータ化したものです。

データ整備ツールでは、タブレットをもって現地を移動しながら、歩行空間の段差や勾配等を入力することができます。データを作成する際には、まず、地図上に折れ線を描く要領で歩行空間の形状をタップして入力します。続いて、作成した線データ(リンク)をタップした上で、段差や幅員、勾配等の情報をプルダウンより選択して入力します。作成されたデータは、Shape ファイル等として出力することができます。



①歩行経路の形状(リンク、ノード)を図上入力

②プルダウンメニューを用いて属性情報を選択入力

図 データ整備ツールによるデータ作成のイメージ

《参考情報》

- 歩行空間ネットワークデータ整備ツール(試行版)
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_tk_000041.html
- 歩行空間ネットワークデータの概要
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000026.html

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系）（併）政策統括官付
 TEL 03-5253-8794 E-mail info@hokoukukan.go.jp

【関連ホームページ】

ICTを活用した歩行者の移動支援の推進
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_mn_000002.html